

自動車整備科・一級自動車工学科・ 自動車整備スポーツメカニクス科		2023年		授業計画	
時期	1年D巡	単元	実習	教科名	車両2 (1年点検)
科目	自動車整備	教科書等 持参品	定期点検作業要領書	発行日	2023.4.1
総時限	32時限		日産4級お客様対応テキスト		教科担当
必要時限	32時限		実習ノート		
指導教員の実務経験					
該当 非該当					
自動車整備士として、自動車の定期点検の経験ある教員により定期点検基準に則った指導をする。					
教科の目的 (この学科の狙い、目的を明確に記入)					
①自家用乗用自動車の法定1年点検が出来る。					
②点検整備記録簿の記載事項、作成が出来る。					
③法定1年点検の項目を理解する。					
④お客様に対して整備結果説明が出来る。					
⑤ブレーキ、補機ベルトの点検、着脱、調整が安全、確実に出来る。					
授業の到達目標 (何を理解し何が出来るようになるのか)					
①自家用乗用自動車の法定1年点検を理解し、出来るようになる。					
②点検整備記録簿の記載事項を理解し、作成が出来るようになる。					
③法定1年点検の項目を覚える。					
④PCにより整備要領書(E S M)、部品(F A S T)の検索が出来るようになる。					
⑤お客様に対して受付対応、整備結果説明(M M S含む)が出来るようになる。					
⑥ブレーキ及び補機ベルトの点検、着脱、調整が安全、確実に出来るようになる。					
学習評価 (期末試験での主な試験項目)					
1) 履修試験での学習評価 実技試験 100点にて総合評価する。 整備科、SPM科 60点以上で合格、工学科 70点以上で合格。					
2) 出題試験項目					
1. 実技試験					
①法定一年点検。					
②お客様対応。					
③ブレーキの着脱。					
準備学習					
事前に次回の授業内容範囲を予習して、実習ノートを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。					
実習ノートをもとにテキストを用い、自動車各部の構成装置の名称、役割、目的を事前に調べてまとめておく。					
シャシ2/3の実習ノートを基にブレーキの着脱作業及び点検、調整を確認し復習する。					

